



発行所 (一社)福島県電設業協会 発行人 大槻博太 〒960-8114 福島市松浪町9-6 (福島県電設会館) TEL (024) 533-6226 FAX (024) 533-6235 E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp 編集印刷 福島建設工業新聞社 福島市西中央2-59

県内設備業界

働き方改革推進へ連携

適正工期設定など 県建設業協会に協力要請

当協会(大槻博太会長)と県空調衛生工業協会(大内弘之会長)は11月27日、設備工事業界の働き方改革実現に向けて、県建設業協会(長谷川浩一会長)に対し①適切な工期設定と契約変更②働き方改革関連法の順守への協力を要請した。2024年問題を見据え、工期や工程等に影響が大きい建築工事団体に理解を求めたもので、長谷川会長は要請を受け、働き方改革推進は県内建設産業全体の共通課題だとして、業界が連携して取り組んでいく考えを示した。

材の価格高騰や納期遅延、工事の後工程を担う延、エネルギー価格の上昇等により、当初契約の請負金額や工期では施工が困難なケースが多発。適切な見直しが行われ

特に、建築・電気・機械工事が同一工期で発注される県工事で、設備工事の総合調整期間が確保できないよう建築工事等の工程管理等を要請。調整期間の日数が特記仕様書で規定されていることが浸透していないため、周知徹底への協力を訴えた。

当協会の野内忠宏専務理事と空衛協の大内会長、海川正美専務理事が福島市の県建設センターを訪れ、長谷川会長に要請を手渡した。

要請内容は次の通り。◆適切な工期設定等▽公共、民間各工事請負契約の尊重▽総合建設業への一括発注時に設備工事業者に想定外の経費負担が課せられないよう工事仕様・計画の変更に対応した工期を含む契約の変更▽適正工期の設定と工期延長が生じた場合の工程遅延を含む契約の変更▽朝礼、打ち合わせへのリモート参加の容認

空衛協と共同提出



要請書を掲げる大内会長(左)と長谷川会長

時間外労働時間の罰則付上限規制が令和6年4月から建設業に適用されるのを踏まえ、日本電設工業協会と日本空調衛生工業協会は全工事関係者と空衛協が連携して要請活動を行った。県発注者に対しては意見交換等を通じ、適正工期の設定や関連法の順守を訴えていく。

県総合設備協会 地元維持管理企業の受注機会確保を要望

県入札監視委に改善求める

県入札制度等監視委員会の建設関係団体に対する意見聴取Ⅱ写真Ⅱが11月27日、福島市の杉妻会館で行われ、県総合設備協会(大槻博太会長)は、建築物の維持管理等を担う地元企業の受注機会確保につながる制度改善を要望。総合評価方式・地域密着型や地域の守り手育成方式の拡大や停電・断水対応等の総合評価での加点などを求めた。

総合設備協会は、副会長の長の大内弘之(県空調衛生)は、一般土木と舗装工事のみが対象となっている「地域貢献度」評価の選択科目「除雪・維持補修業務」の実績で、学校や公営住宅等の停電、断水対応を

令和5年度の制度改正で

内申企業数・企業数が見直された点を評価しながらも、管内ごとの登録企業数を6者まで緩和するよう一層の改善を訴えた。対象となる3000万円未満の工事の多くが

自然災害への対応は東北地方整備局や県、一部市町村と協定を結び、締結先の要請に応じて迅速に対応している状況などを訴えた。

工事業者の4団体と、個別事業者が参加。監視委員会が①入札・契約制度に関する課題(入札・契約制度全般)②総合評価方式、地域の守り手育成方式③建設

設置を取り巻く社会情勢や課題(技能労働者の処遇改善、頻発・激化する自然災害への対応)③オンライン入札について意見を聞いた。

野内忠宏専務理事らが出席。入札制度全般の課題として、建築物の維持管理を担う地元企業等の受注機会確保を挙げ、インセンティブの導入など、メンテナンス担当企業や施工実績のある企業、施設を熟知した地元企業が受注しやすくなる入札制度への改善を要望した。

価格による同額くじ引きが発生している価格競争の現状を示した上で、総合評価・地域密着型と守り手方式を土木、農林水産部以外の部局にも拡大するよう訴えた。

入札終了後の開示請求への速やかな対応、電子閲覧・入札の完全実施など入札・契約事務のさらなる簡素化、工事規模に見合った入札期間の設定も要望した。

改修や維持修繕工事などで、施工前の調査や調整に時間、費用がかかる状況を踏まえ、入札辞退回避のため発注ロットの大型化や、必要な現場経費のきめ細かな計上などを提案。発注時期の一層の平準化も要望した。

技能労働者の処遇改善については、当協会と県空調衛生工業協会会員企業の取り組みを紹介。公共工事設計労務単価の引き上げを評価する一方で、民間工事では発注者の理解が得られず、賃金水準のアップが難しい現状も訴えた。

国土交通省発出文書(経済社会状況変化に応じた適正な請負代金設定と適正工期確保)の尊重

◆働き方改革関連法の順守▽完全週休2日制が実現可能な工期の設定(建設技能者の所得減への配慮含む)▽改正労働基準法で定める時間外労働の上限(月45時間・年360時間)を踏まえた工期の確保▽設計仕様の早期設定と変更期限の順守▽想定外の事情による工期遅延が生じた場合の工期延長を含む契約の変更▽各種会議、打ち合わせを定時時間内に行える体制整備▽朝礼、打ち合わせへのリモート参加の容認

▽国土地交通省発出文書(経済社会状況変化に応じた適正な請負代金設定と適正工期確保)の尊重

Panasonic LEDリニューアルが、経営に効いた。 iDシリーズ 一体型LEDベースライト

※従来蛍光灯器具FSA42001F VFN9とiDシリーズ40形5200lmタイプ(直付XLX450DHNT LE9)との比較。新電力料金目安単価:25円/kWh(税込) [家電公正取引協議会が発出した「新電力料金目安単価27円/kWh(税込/一般家庭用)」から消費税相当額8%を抜いた金額で算出。]年間点灯時間3000時間、従来蛍光灯器具の交換費用(器具代・ランプ代)含む。 パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 福島電材営業所 〒963-8025 福島県郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731

今回のインターン

シップで得られたものは、3つあります。

1つ目は、仕事への向き合い方です。インターンシップ初日のプレゼンテーションで、能力や思いという言葉が出てきました。私は、能力の方が大事だと思っていたのですが、

就業体験で得られた事

県立テクノアカデミー会津

吉田 柝哉

携ができません、人間関係にも関わってくるので、私もコミュニケーション能力は大事だと思いましたが、現場の方の話を聞いて、バイトをしたり、金だけじゃなくてやり

私は目黒工業商會様に3日間インターンシップ生としてお世話になりました。最初は会社の雰囲気や気がな

り緊張していましたが、社内にお邪魔すると気さくに話しかけてくださり気が楽になりました。

仕事で大切なこと

県立テクノアカデミー会津

五十嵐幸大

この3日間の内に大切なことだと思ったことが2つあります。

1つ目はコミュニケーション

3日間では、工事後の片付けや現場の掃除などを任せられ、時々工場の進行状況や人間関係を良好に保つため、さらには安全に作業を進めていくためにもコミュニケーション能力

3日間では、工事後の片付けや現場の掃除などを任せられ、時々工場の進行状況や人間関係を良好に保つため、さらには安全に作業を進めていくためにもコミュニケーション能力

貴重な経験に感謝

県立テクノアカデミー会津

高畑 陽向

このたびは3日間にわたり大変貴重な体験をさせて頂きましてありがとうございました。貴社の皆様は大変温かく指導して下さいます。

インターンシップの

現場に行き見学させてもらいました。市役所の工事現場見学では、立入禁止の場所に

自分から話しに行くのがいや仕事が楽しくでき

2つ目は、コミュニケーション能力です。コミュニケーション能力がないと上司や仕事関係の人達とうまく連携

今回のインターンシップで経験した事を、自分の将来に活かしていきたく思いま

すし、自分は何ができないかなど課題も見つ

かったため、インターンシップが終わった後

も意識して取り組んで

いきたく思っています。

を広げていくには日々勉強に励んでいくことが大切だと感じまし

た。

3日間の体験を通して社員の方から教

わったことを大切に活

かして今後の学校生活

や就職活動に向けて励

んでいきたいと思いま

す。3日間、貴重な体験をさせていただきありが

とございます。

まずはご指導頂いたお礼を申し上げます。忙しい時間を割いて貴重な体験をさせて頂き心

から感謝しております。

貴社のご発展と皆様

のますますの活躍をお祈り申し上げます。

県立テクノアカデミー会津 県立福島工業高校 県立二本松実業高校

インターンシップ感想文

3日間のインターンシップを通して学んだことは、この企業さんの人に質問しても「コミュニケーション」が大事だということ

職業選択の1つの鍵に

県立福島工業高校

斎藤 瑠惟

現場でいろいろな職人と連携して協力していくのにもコミュニケーションが

できないことが分かった。その他にも資格をたくさん持つて

だど分かりました。

3日間の短い間でしたが、現場研修を行い、実際に働いて

いるところを見せていただき仕事の雰囲気を実感することができまし

た。また、現場先ではた電気設備工事現場を見

学させてもらいま

し、その

教育では安全第一だと

知ることができました。

KY活動は日頃の生活にも役立つので

こなっていききたいな

思いました。2つの教

育を通して思ったのは

コミュニケーションの大切さです。社会に出

たら年齢がバラバラの

人仕事をするので、

3日目の須南電設

いろいろの人が言っ

た。これからの社会

は資格を持つている

人が減っていき、人

が少なくなると給料

が増える。今回は

外配線工事の様子と

中の住宅の内線工事

の様子を見学するこ

とができました。ど

ちらも

導うそれぞれのやり

が

い所で仕事をして

いる人の感覚なども

得ることができて、

とても良

い体験になりました。

今回のインターン

シップでは就職に関

する知識などを学ぶ

いがあった、大変な

ことがあることが分

りました。自分は最初

柱や高所などのグル

ープで作業するのが

良い

など思っていたので

すが、内線の作業を

見て住宅の人が住

む家を一生懸命完

成させて

いく姿もとても良

い

と思いました。

これから自分が就

職するにあたって

会社を

決めるための良い

経験

になりました。

い

が

あった、大変なこ

とがあることが分

りました。自分は最初

3日間を通して、電

設業界の大変さや魅

力について知ること

がで

きました。

3日間を通して、電

設業界の大変さや魅

力について知ること

電設業の仕事を見学して

県立二本松実業高校 國分惣右介

先日行った3日間のインターンシップでは、事業所の仕事内容だけでなく、社会のルールやマナーについても理解を深めることができました。

1日目のインターンシップでは主に座学がありました。まずビデオで安全について学習しました。自分のイメージでは電気工事の外線、内線の作業は常に危険と隣合わせだと思っていた。しかし、実際は昔と比べて業務を始める前に業者全員で集まり安全確認をしておき、安全に作業ができるように作業場所や作業道具の点検をしていました。このことを聞いた時に少し安心しました。

次に入社3年以内の若手社員の方々と意見交換をしました。ここで様々な質問をさせていただきました。初めに、入社前と入社後の違いを聞きました。社員さん方々はほとんどの方が入社した後は楽しく作業していると答えていました。他にやりがいがあるのか質問をしてみると、自分が作っているものが完成したとき達成感があり、やりがいがあると答えていました。若手社員の方々の話を聞いて将来に向けて資格取得を頑張ろうと思えました。

次に電工社の作田さんから社会人マナー教育がありました。作田さんの話で印象に残ったことは、社会人になって遅刻や欠席をなるべくなくすために今のうちに無遅刻、無欠席を心がけておくということ、若いうちの「今」の時間を大切にしようという話をされたことです。作田さんがおっしゃるには、時間は過ぎてしまえばもう二度と取り戻せないから、今できることを精一杯やったほうが良いとのことでした。この話をされてとても心に響きました。「今」を大切にしていきたいです。

2日目は実際に作業現場に行き見学するのが主な内容でした。最初に建設途中の伊達小学校の内線工事の様子を見学しました。第2種電気工事士で学んだことを思い出しながら内線工事を見学しました。多種多様な配線が混在しているのようになっていくかよく理解できませんでしたが、普段通っている学

将来への一步

県立二本松実業高校 恩田 瑞己

このたびは、私たちのインターンシップにご協力いただきありがとうございます。

はじめに、KY活動で安全に配慮してその工事を安全にどう進めるか取り決めをしてから現場で作業し、このインターンシップで電設業界がどれだけ人の安全に配慮しているのかを肌で感じることができました。

初日は、電設業界の仕事内で何をやるのかということを知りました。私は、電設業界とは作業のみをしているイメージでしたが、実際は営業や図面作製、顧客との契約、金額の算出まで幅広い仕事をしていることを学びました。次のビデオ学習では、現場のことについて学びました。現場では、KY活動の徹底、天井から地中までの配管、施工のチェック、受電設備の設置、メンテナンス、アフターサービスと幅広いことを学びました。その後の社会人マナー教育では、コミュニケーションの大切さやメモを取ることの重要性、社会人と学生の違いを学びました。「記憶はなくなるが、記録は無くなる」この言葉が印象に残っています。

2日目の現場研修では、鉄筋の間に配管をすることや約21kgの太陽光パネルを持たせていただきました。また、透明のボックスがジョイントボックスの代わりであることやケーブルラックの実際の使いどころ、コンクリートにメモが書いてあることも教わりました。それに、熱中症対策で暑さの指標や温度計がありました。

次の外線工事では、6600Vの高圧電線に直接接触することのないように、道具を使って安全に作業していたり、高所作業の人が2人以上で作業していたり、外線作業は一つの班で動き、安全に活動していたりと常に社員さんの安全を保持していることを学びました。午後は天候の悪化により研修は中止となって残念でしたがよい経験になった2日目でした。

3日目は須南電設さんにお世話になり、午前中は須南電設さんの仕事内容について知りました。須南電設さんは外線部と内線部があり、この2つの部署で幅広い電気工事ができるようになっていました。外線部は、東北電力からの仕事もあると聞きました。須南電設さんは能力の「三ム」をなくし、平均的に高い能力を得ることを重視していました。

次は、人生の投資について学びました。私は、投資と聞くとお金を投資するイメージが強かったのですが、人生において時間やエネルギーを使うことも投資と学びました。なので、私も第1種電気工事士の勉強も自分への投資だと思って取り組みたいと思いました。

午後は、電気工事士試験で出題される器具やケーブルを見せてもらったり、触らせてもらったりしました。写真で見ると実際に見たり触ったりすると、予想以上に大きかったり硬かったりしていたのでとても勉強になりました。また、パイプベンダーや張線器の使い方を教わりました。

次に、高所作業車に乗せてもらい、プルハーネスというものを装着して約14mのところまで登りました。最初は恐怖心がありましたが、だんだん楽しくなり貴重な体験ができました。高所作業車は、安全のためにタイヤが浮いていて4本の足で固定されていました。

そしてLEDの街頭も真近で見ることができました。LEDの街頭にもブレーカーがついていて以外でした。話を聞くと、電気機器には、すべてにブレーカーがかットアウトがついていると聞きました。最後の質問等で電設業に必要な資格や取っておくべき資格などを教えていただきました。

最後に、全体を通して、社会人としてはっきり大きく明るい声で話すことや若いうちから失敗しに行くことを学びました。3日間本当にありがとうございました。

校や自宅の内線もこうなっているのかという想像を膨らませることができ、一つの大きな経験になりました。

内線工事の次は外線工事を見学しました。外線工事では電柱の高所作業を見に行き、作業をしている方に話を聞きました。話を聞くと高所作業するうえで高圧で感電しないために、一度電圧を別の回路に流して感電対策をしていることを教わりました。それから電柱の高所作業では高い場所で行うので、高い場所が苦手な人は慣れるのに少し時間がかかるという話も聞きました。なので、私も高所克服のために今のうちに慣れたいと思います。

3日目は、須南電設の方にお世話になりました。まずは座学で改めて社会人のマナーを教えていただきました。その中で印象に残ったことは、どれだけ仕事が上手でも遅刻ばかりしていると、その人の印象が悪くなるということです。これを聞いて自分の普段の姿と重ね合わせてみました。改めて考えると自分のよくない部分が浮かび上がってきました。普段の生活から心掛けたいと思います。

午後からは電気工事に使う工具などを見せてもらいました。実際に工具を使って鉄パイプを曲げてみると、思っていたより上手く曲がらず慣れが必要であると実感しました。第2種電気工事士の試験で出てきた物もいくつか実際に見ることができ、試験勉強の際に疑問に思っていたことが解消されたので良かったです。

次に野球場などによくあるLED照明器具の仕組みを教えてくださいました。LED照明は直流でしか使えないので、交流から直流に直して使用するということを知りました。今後の勉強に役立てたいと思います。最後に高所作業するときの実際の高さまで、高所作業車の作業台に乗せてもらいました。初めは怖くて腰が引けてしまいましたが、いざ乗ってみると意外に楽しかったです。

この3日間で学んだことをまとめると、社会に出ると学生とは違い上手くいかないこともあるけれど、それを我慢してマナーを守るべきだと思いました。そのためには学生である今のうちに資格取得や社会勉強をできるだけ多くしておくべきだと思います。最後に、3日間のインターンシップでは本当にお世話になりました。いつかみなさんのように格好いい社会人になりたいです。

将来の就職のために

県立二本松実業高校 菅野 摩耶

私は今回のインターンシップで多くのことを知ることができました。

1日目では、電設業の仕事内容や、社会人に必要なことを知ることができました。私は今まで、配線や器具を設置するだけがおもな仕事だと思っていました。ですが実際の仕事は顧客と話し合い、両者が納得できるような企画や設計、積算・見積をすること。現場では朝礼の後にKY活動をおこない、打ち合わせやチェックをしながら工事をする、終わった後もメンテナンスなどのアフターサービスを行っていることも知りました。働いている方からは、現場では気温の変化などが大変でも、一人で作業ができたり建物が完成したりすると、やりがいを感じるということも聞きました。様々な仕事内容があり、大変なこともあるけれど、とてもやりがいのある仕事なのだと感じました。

その後の社会人マナー教室では、要点をまとめてメモを取る大切さ、職場の人とコミュニケーションを取る大切さを学びました。

2日目は、実際に現場の見学を行いました。現場では、毎朝KY活動をし、その日の作業ごとに安全におこなえるようにしたり、熱中症対策のためにその日の気温によってこまめな休憩を取っていることを知りました。ほかにも、現場には建設関係の仕事の方もいるということを知り、建物が完成するには多くの人の協力が必要なのだと思いました。

その後の外線の現場では、トランスの耐震性を強化する作業を見ることができました。作業をする際には仮のトランスに電線をつなげ、作業部には電流が流れないようにしたり、マジックハンドのようなものを使い、電線を直接触らないようにするといった、安全に作業するための工夫があることを知りました。

3日目は、現場の見学や高所作業車に乗りました。作業車には安全のために決まった乗り方があるそうです。最大で16mほど伸び、工具を収納するスペースがあることに驚きました。乗ってみると下から見るよりも高く感じました。実際に乗って作業する方の話では、風が強い日などは揺れるそうです。

その後見学した場所では、地震の際の対策について知りました。地下の部分の配線は揺れでずれないように想定して、60cmほど余裕をもって設置しているそうです。このように自然災害に対しても対策があることがわかりました。

その後は、設計積算業務について話を聞きました。設計業務では要望をかなえるためにはどうすればいいかを考え図面を作成すること、積算業務では工事をするのに必要な材料や手間を図面から拾い、いくらお金がかかるかを予想し見積を仕上げるのが仕事内容だそうです。そして、紙の図面では縮尺があり専用の定規もあるそうです。紙の図面では頭の中でイメージしなければならぬそうですが、パソコンで建築3Dモデルを使い作成すると、建物のイメージもわかりやすいそうです。最近では、図面はCADを使って作成するそうです。図面についての話を聞いた後は、実際にパソコンで3Dモデルをみたり、CADを操作させてもらいました。CADはすでにあるものを参考に一部を作成しただけなので、そこまで難しくなく楽しかったです。一から自分で作成するとすると、とても難しく大変な作業なのだろうとおもいました。

今回のインターンシップを通して電設業の仕事についての理解が深まりました。この3日間の経験を将来に生かしていこうと思います。

福島支部

スポーツに親しんだ一年

今年も早いもので残すところ12月を切りまし...

白河支部

ダウン症の書家 金澤翔子さん

去る11月11日、白河市において、金澤翔子さん...

相双支部

中耳炎

今年も間もなく終わろうとしていきます...

編集後記

会員の皆様には常口頃よりお世話になっており...

会員の声

郡山支部

身近な災害に注意

今年、長い夏と短い秋を経て冬を迎えよう...

いわき支部

台湾への定期便

令和6年1月16日から、福島空港と台湾(台北・桃園空港)を結ぶ直行便が運航されること...

会津支部

シャンパーニュ

12月は一年で最も煌々(きら)びやかなシーズ...

10月のある日の夕方、車で移動中に雷雲が勢いよく迫ってきて...

この体験から改めて地域ハザードマップや防災情報の重要性を学び...

アピールするか、県内経済の活性化にどのように繋げていくかが大切と考えます。

洗練させ、瓶内2次発酵により炭酸ガスを瓶内に閉じ込めた。これが現在に近い形として確立された...

T.gami 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス
機能アップ
Superラインチェツカ TLC-C形
○ブレーカ探査
○ケーブル探査
○埋設線探査
○漏電点探査(死線)
○回路電圧表示

未来のダイナミックなテクノロジーに応える
ワイムの配電盤事業
株式会社 ワイム
配電盤、動力盤、分電盤メーカー
ISO9001取得
ISO14001取得

TOSHIBA
照明器具・LED光源・配線器具
東芝ライテック株式会社
郡山営業所
郡山市桑野4-2-2 TEL: 024(922)-5511
http://www.tlt.co.jp/

東和電機工業株式会社
受配電制御システム設計製造
中央監視システム設計
各種プラント制御システム
空調・衛生計装制御盤の設計製造
新エネルギーシステム関連事業
コージェネレーションシステム関連事業
認定キュービクル・耐熱形分電盤設計製造

ご活用ください、本紙 Web
www.fk-news.co.jp
購読会員無料ID発行中
福島建設工業新聞社
お問い合わせは TEL 024-534-7456

FURUKAWA
配電盤 制御システムメーカー
古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優
福島県郡山市若葉町11-23 (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861